

倒壊家屋の解体の遅れが水道復旧の支障になることもあり、輪島市や珠洲市の中で甚大な被害を受けた場所では滅失登記の手続が始まった。5月下旬には、珠洲の一部の太鼓団体から水が使えるようになったと連絡を受けた。しかし、新聞を広げると掲載量は減ったものの、元旦の地震から半年が経とうとしている今でも給水や入浴情報が載っており、まだまだ多くの支援を必要としている方々がいる。

*

*

*

2024年6月8日(土)

須須守護神太鼓保存会(珠洲市三崎町寺家)

現地周辺を車で走ると、町の様子に変化が見られる。ピンク色や黄色のスタッフジャンパーを着た支援ボランティアの人数がぐっと増えていた。大正大学と背中に書いてある若者達の集団を見かける。災害復旧支援活動として、6月5日から5日間に渡り、教職員と共に三崎町を訪れており、片付けのお手伝いだけでなく、被災地の子どもたちの学習支援や応急仮設住宅での交流会なども行っているそうだ。倒壊した家の前には、次々と家財道具や瓦が並べられ、瓦礫の撤去が少しずつ進み始めている。



須須守護神太鼓保存会の太鼓保管場所である須須神社へと赴き、支援対象となった太鼓を納めに行く。祭りが復活されれば、神輿の先導役として随所でこの太鼓が披露される。



まつなぎ
馬縹キリコ太鼓保存会(珠洲市馬縹町)

代表者である豊平真一さんと、太鼓が保管してあるという同町の珠洲市自然休養村センターで待ち合わせの約束をする。海沿いにある建物で、観光スポットである「ゴジラ岩」が近くにある。また、この馬縹町は震災当初に孤立状態となった場所の一つである。

現地の方や Google ナビを頼りに、細い山道を走り目的地を目指す。崖崩れや陥没が至るところで起こり、電柱が折れて電線がぶら下がっている場所もある。一本道を 40 分ほど走り続けるが、進むにつれ道が悪くなり、タイヤがパンクしないよう速度を落とした。

途中、代表の方から、急な仕事でどうしても現地に伺えないと連絡があったが、太鼓保管場所は避難所にもなっており、どなたかが対応して下さるということで、再び車を走らせた。細い脇道には何力所か集落があるが、人の姿は全く見えない。

更に 15 分ほど走ったところで、土砂崩れと倒木により道が塞がっていた。よく見ると車が通った轍があるが、6 月 3 日の珠洲市を襲った震度 5 強の影響もあるのだろうか、これ以上は危険と判断し、後続車に声をかけた。車から、お坊さんが降りてきて、珠洲市内から法事のため馬縹町へ向かう途中だという。檀家さんに教えてもらった道だというのが、道がない。私たちも次の太鼓団体との約束があるので、豊平さんに連絡し、一旦、断念する旨を伝えた。分岐点まで崖道をバックで戻り、市内に戻る。後で分かったことだが、立ち入り禁止のロープが外れてしまっていたようだ。住民が避難し、人が戻っていない場所は、現地の方でも情報が分からない場合があるので今後は気をつけたい。



龍神太鼓保存会(珠洲市上戸町)

代表者の坂井和朗さんと、メンバーの間谷透さん、加藤宗和さんと、珠洲市立上戸公民館で待ち合わせをする。地震直後、この公民館まで津波がぎりぎりまで押し寄せてきたと話して下さった。

同保存会は、地域に伝わる祭事、雨乞い太鼓「上戸龍神太鼓」の継承保存のために発足し、太鼓は上戸町にある3つの神社(上戸喜多神社、総神社、柳田神社)にそれぞれ保管してある。震災前は、公民館で練習を行い、すぐ側にある珠洲市立上戸小学校では授業の一環として、月2回指導を行っていた。訪問した際には、太鼓を見やすいようにと3つの神社の太鼓をこちらに集めて下さっていた。

太鼓の状態を確認し、間谷透さんのご案内で、保管場所であった神社を順に回っていく。

●上戸喜多神社

上戸公民館の隣にある上戸喜多神社は、屋根の大棟が何カ所か崩れ、中をのぞくと床が湾曲していた。ここに保管してあった太鼓は、雨漏りにより、革面にカビと腐食が始まっており、また落下物の衝撃で、台も一部欠損していた。この太鼓は主に、イベントでの演奏や公民館での練習に使われている。



●総神社

鳥居は倒壊し、木製の格子戸は殆どが外れ、壁はひび割れとともに一部倒壊している。畳は雨でシミだらけとなっていた。ここに置いてある太鼓はイベントだけではなく、9月14日に毎年開催される祭りでも使われる。一見、無事そうに見えた太鼓は胴が湿っぽく、雨漏りにより革が劣化していた。



●柳田神社

地震により神社が全壊してしまい、伺った時にはすでに社殿は解体され、階段部分のブルーシートを残すのみとなっていた。境内入り口では、風車がかかるくと回っている。その羽には復興への願いや応援メッセージが一つずつ丁寧に書かれていた。

全壊の建物から太鼓を運び出してくださっていたが、胴と革の破損は酷く、新調対象となる。





公民館から太鼓を運び出す時、内部からゴロゴロと音が聞こえる。保存会の先代が、雨乞い太鼓として雷鳴を表現するために、何か石のようなものを入れたそうだ。

現在、龍神太鼓保存会が練習している公民館近くには、仮設住宅が建ち並び、騒音の問題もあるため練習をどうするのか思案しているとのことだ。それでも、早く練習を再開したい、演奏活動を始めていきたいとのことから、できるだけ早い納品を望まれた。

* * *

現在、被災地では県外派遣だけではなく、地元の飲食店と協力した復興イベントが少しずつ開催されるようになってきている。被災地の太鼓団体にとって、県外でのイベントは震災の景色から少し離れ、一時でも心と体の緊張を解き、仲間や他県の人たちと触れ合うことのできる機会となる。ただ、招聘はされたものの、出演料や交通費が支払われないなど、被災地側の負担が起きている場合もあり、今後当財団では、地元開催も含め、主催者が事前に開催要項案や企画書を提出した場合に一部の経費に対して支援金を充てていく予定である。

(公財)日本太鼓財団 太鼓修復・新調支援 計算表(6月分)

団体名	金額
須須守護神太鼓保存会	344,000
合計	344,000

(2024年6月27日)

* * *

引き続きご寄付を頂いており、寄付金の累計額は 6 月 28 日現在で、12,831,482 円となりました。

心より御礼申し上げます。

お預かりした寄付金は大切に使ってまいります。

収支計算書(6/28 現在) (単位:円)

収入		金額	属性	備考
1/5	全九州太鼓連合	1,000,000	地区	
1/6	関八州太鼓連合	100,000	地区	
1/9	東北太鼓連合	300,000	地区	
1/18	浅野太鼓楽器店	1,000,000	賛助	
1/27	河合 光夫	10,000	その他	シニアコンクール出場者
1/29	福井県太鼓連盟	30,000	支部	
1/29	松本 弘昭	35,000	その他	シニアコンクール出場者
2/1	東京都支部	100,000	会員	
2/2	櫛引 秀明	50,000	その他	シニアコンクール出場者
2/2	浅野 義幸	100,000	その他	浅野太鼓楽器店 17 代当主
2/6	岡山県支部	110,000	支部	
2/7	宮城県太鼓連絡協議会	150,000	支部	
2/8	北海道道東支部	30,000	支部	
2/9	茨城県支部	95,000	支部	
2/13	千葉県支部	100,000	支部	
2/13	岐阜県太鼓連盟	100,000	支部	
2/13	岐阜県太鼓連盟獅子の会	50,000	その他	国文祭ゲスト団体
2/13	全九州太鼓連合	2,805,701	地区	
2/14	神奈川県支部	50,000	支部	
2/16	佐々城 清	1,000,000	本部	常務理事
2/16	高野 右吉	10,000	その他	副会長
2/16	宮城県太鼓連絡協議会	20,000	支部	
2/16	滋賀県支部	50,000	支部	
2/18	兵庫県支部	200,000	支部	
2/26	日本太鼓財団事務局	143,000	本部	
2/29	静岡県支部	100,000	支部	
3/1	奈良県支部	162,000	支部	
3/4	台湾太鼓協会	500,000	その他	
3/7	北海道道北支部	132,628	支部	
3/11	宮本卯之助商店	1,000,000	賛助	
3/14	栃木県支部	106,984	支部	
3/15	群馬県支部	98,000	支部	
3/18	和歌山県支部	130,000	支部	
3/18	北海道道央支部	25,000	支部	
3/19	長野県支部	540,537	支部	
3/21	西岡 知則	30,000	その他	シニアコンクール出場者
3/21	愛知県支部	257,632	支部	
3/26	NPO 法人てほへ	150,000	その他	志多らグループ会社

3/27	(有)志多ら	350,000	その他	
3/27	ブラジル太鼓協会	440,000	その他	
3/28	西川恵美子	50,000	その他	技術委員
3/28	北海道道南支部	150,000	支部	
3/29	NPO 東京都太鼓連合	100,000	その他	
3/29	日本太鼓財団東京都支部	500,000	支部	
3/29	日本太鼓財団三重県支部	10,000	支部	
3/29	日本太鼓財団島根県支部	100,000	支部	
4/19	鶴岡太鼓フェスティバル	50,000	その他	
4/25	岐阜県太鼓連盟	28,000	支部	
4/30	逢鷺太鼓連 久野壯	50,000	その他	
4/30	逢鷺太鼓連	92,000	その他	
5/13	広尾陣屋太鼓保存会	10,000	その他	
6/27	西岡 知則	30,000	その他	シニアコンクール出場者
計		12,831,482		

支出		金額		備考欄
1/11	輪島支援物資	121,741		
1/19	穴水/能登町/志賀町	130,080		
1/27	志賀町/輪島	18,415		
2/8	名舟町	54,780		
2/11	輪島	28,534		
1,2月	各チーム交通費	67,714		
4/1	バチ	20,185		
4/3	横断幕	38,500		
3月	各チーム交通費	105,152		
4月	各チーム交通費	14,973		
5月	各チーム交通費	4,637		
6/28	太鼓修繕	344,000		須須守護神太鼓保存会
計		948,711		

収支差額	11,882,771
------	------------